【コーレス骨折の診察・整復】

問1. コーレス (Colles) 骨折の典型的な変形はどれか。

(第28回)

1. 近位骨片の背側突出
2. 遠位骨片の尺側偏位
3. 橈骨茎状突起の突出
4. 手関節横径の増大

問2. コーレス (Colles) 骨折に続発するのはどれか。

(第28回)

1. 尺骨茎状突起骨折
2. 舟状骨骨折
3. 月状骨骨折
4. 長母指伸筋腱断裂

問3. コーレス (Colles) 骨折の整復手順で正しいのはどれか。(第29回)

1. 整復前に神経血管損傷の有無を確認する。
2. 患者は坐位にて肘関節伸展位とする。
3. 助手に患肢の上腕骨骨幹部を把持させる。
4. 整復後、助手に変形の有無を確認させる。

問4. 不安定型コーレス (Colles) 骨折の定義で誤っているのはどれか。(第30回)

1. 高度な粉碎
2. 関節内骨折
3. 整復後の再転位
4. 背側傾斜角10度

問5. 高齢者の橈骨遠位端部骨折で誤っているのはどれか。(第31回)

1. 解剖学的整復が必須である。
2. 長期固定は関節機能を障害する。
3. 早期から手指の自動運動を行う。
4. 発生原因として骨粗鬆症が背景にある。

問6. コーレス (Colles) 骨折屈曲整復法で、弛緩を目的とするのはどれか。(第32回)

1. 方形回内筋
2. 長母指伸筋
3. 腕橈骨筋
4. 円回内筋

問7. コーレス (Colles) 骨折の牽引直圧整復法で誤っているのはどれか。(第33回)

1. 転位軽度な骨折に対して行う。
2. 遠位骨片背側から圧をかける。
3. 遠位骨片を過伸展させる。
4. 遠位骨片を回内させる。

問8. コーレス (Colles) 骨折の症状で正しいのはどれか。(オリジナル問題)

1. 前腕外側部の知覚が障害されやすい。
2. 橈側転位によりフォーク状変形がみられる。
3. 腫脹は骨折部より遠位に出現する。
4. 正中神経麻痺では母指の伸展運動が障害される。

問9. コーレス (Colles) 骨折の評価においてみられる変形はどれか。(オリジナル問題)

1. 捻転転位によるフォーク状変形
2. 短縮転位による銃剣状変形
3. 掌側転位による銃剣状変形
4. 背側転位によるフォーク状変形

問10. コーレス (Colles) 骨折の屈曲整復法において最後に除去する転位はどれか。(オリジナル問題)

1. 背側転位
2. 捻転転位
3. 短縮転位
4. 側方転位